



ひらがなに興味を持つ子が増えてくると、友達同士でお手紙のやりとりが始まります。お家でも「お友だちにお手紙を渡したい！」という声があがるようになりますが、そのような時の対応について次のようにルールを整理します。合わせて持ち物についても補足いたします。

お手紙のやりとり

ひらがなに興味を持ち始めた頃に園の中でお手紙を書いたり、郵便ごっこをしたりしていきます。

ただし、お家でお手紙を書いてきて、お手紙を渡すというのは『なし』にいたします。理由は次の通りです。

お手紙の用紙・メモ帳・シールなどの交換

楽しいお手紙が広がって、いつの間にかトラブルになっていたという事例があります。

- ・1枚のメモ帳・シール交換から、たくさんのシール、高価な物になっていく。
- ・何も書いていないメモ帳、かわいいからあげる。
- ・もらえなかった子は、私はもらえなかった。〇〇ちゃんだけするい。
- ・〇〇ちゃんにはあげるけど、□□ちゃんにはあげない。

本来園生活に必要なものを持ってくることで上記のようなトラブルにつながります。

また、園の中でも『お金を稼ぐのは大変な事』と子どもたちに伝え、買い物ごっこで使うお金を、お手伝いして稼ぐ経験をしました。メモ帳の1枚、シール1枚であっても金銭が発生するということ、**原則『園生活に必要な物はもっていかない』**とご家庭でもご指導をお願いいたします。

キーホルダー・お守り・缶バッジ

お気に入りのキーホルダーがあることで嬉しい気持ちになりますが、園生活に必要なものはトラブルの原因になります。名入りキーホルダーなど個人の持ち物を分かりやすくする目的でつけることもあると思いますので次のようにします。(小さな部品のあるものだと壊れて床に落ちて、0歳児が誤食するリスクもあります)

キーホルダー…1つだけ ・ お守り…1つだけ ・ 缶バッジ…不可

園生活は社会の第一歩

保育園は『養護』と『教育』を行う機関です。生活面の自立、社会生活に必要な力などを身に付けていくための『教育』、幼稚園よりも生活する時間が長い分の心身のケアを『養護』と言います。

就学(小学校へ入学すること)へ向けて社会生活に必要な準備を、家庭と共に進めていきます。